

2023年4月7日

各位

大和エネルギー・インフラ株式会社

案件集約・長期電源化を目指した FIT 低圧太陽光流通事業への資金提供について

大和エネルギー・インフラ株式会社（以下、「当社」）は、株式会社グッドフェローズ（以下、「GF」）との間で、FIT 低圧太陽光分野での案件集約・長期電源化を目的とする業務提携にかかる覚書を締結したこと、及び GF の子会社であり、FIT 低圧太陽光発電所の買取・再販事業を営む GFD 合同会社（以下、「GFD」、GF と総称して「GF グループ」）に対して資金提供を行う契約を締結したことをお知らせいたします。

2030 年エネルギーミックス、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けては、太陽光の新規での追加導入に加え、既存再エネすなわち FIT 太陽光の発電事業の高度化や長期電源化を通じて、発電性能を最大限に活用することが必要になります。とりわけ、FIT 太陽光の累計導入量の約 34%（※1）を占める FIT 低圧太陽光については、適切な運営管理を行うことで設備利用率の低下を防ぐだけでなく、パネルの張替等のリパワリングを通じてより効率的発電を実現できます。

そのためには、発電事業の高度化を遂行できる責任ある事業者への管理・運営の集約化が必要となります。しかしながら、現在、当該集約化を支える FIT 低圧太陽光流通市場は成熟途上であるため、FIT 低圧太陽光の保有主体の 6 割（※2）を占める個人は、発電所の売却が容易に実行できない状況であると認識しております。

GF は、「No Re-new, No Future（再エネで未来を創る）」を理念に、太陽光を中心とした業界トップクラスの再エネ関連の WEB マーケットプレイスを運営するベンチャー企業です。2010 年に開設した太陽光導入の一括見積もり依頼サイトである「タイナビ」や、2013 年からは新設及び中古太陽光発電所の売買マッチングを行う「タイナビ発電所」等の各種メディアを展開、これらのメディア会員数は 19 万人（※3）であり、会員の保有する発電所数は日本の太陽光発電所全体の概ね 16%（※4）に相当し、会員の大多数は個人です。また、2020 年からは、FIT 低圧の中古太陽光発電所を中心とした売買仲介事業や買取・再販事業を展開し、FIT 低圧太陽光流通市場の活性化と成熟化のための取り組みを進めております。

当社は、個人が保有する FIT 低圧太陽光への圧倒的リーチ力と流通に強みを有する GF のこれらの取り組みに賛同し、両社共通目標として、同分野での案件集約・長期電源化を目指して、GF との協業を推進いたします。その第一弾として、当社は、GFD への資金提供を通

じて、GF グループが行う買取・再販事業の拡大をサポートいたします。そして、中長期的には当社または GF グループ自身での管理・運営も視野に入れ、我が国のカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

※1※2：[経済産業省資料（2022年4月21日第1回再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理のあり方に関する検討会 資料3）](#)より

※3※4：GF 社内資料より

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」に掲げる「貯蓄から SDGs へ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じた SDGs の実現を目指します。ステークホルダーの皆様と共に、SDGs や ESG に資する取組みを通じた中長期的な企業価値の向上およびサステナブルで豊かな社会の創造に努めてまいります。

本件により達成を目指す SDGs の目標

- ・ 目標7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに
本件投資を通じ再生可能エネルギーの導入を推進して参ります
- ・ 目標13：気候変動に具体的な対策を
本件投資を通じ気候変動及びその影響の抑制に貢献して参ります

以 上

(ご参考)大和証券グループのサステナビリティに関する取組み：

https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress